様式３（2019.05改）

作成日　令和元年１２月１４日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	237500826
事業所名	グループホーム若宮

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	駐車場はやや狭いものの、住宅の中に溶け込む事業所の玄関先にはスロープ風の小さな庭が在り、季節の花が風に揺れる姿も親しみとなり、ご近所が茶飲み友だちのようになってくださっています。福祉まつりや盆踊りなどの地域行事には出来る限り参加しており、毎年中学生の職業体験も受け入れ、大正琴や音楽療法のボランティアが訪れていて、地域とつながった活動が実現しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は、法人内の3事業所合同での開催で、隔月の実施が叶っています。他事業所の行事や外出先が上質な情報として把握でき、これまでもいちご狩りやそば打ちなどの新しい取組みが実現しています。また終了後には昨年度法改正における身体拘束廃止委員会を併せて開催することで、透明性の高い運営につなげています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	主治医の意見書などを含む「介護認定審査会資料」を行政窓口に取りに行くといった業務が月1、2回あります。また運営推進会議を3つの事業所が集まっておこなえるよう武豊町に図らってもらえたメリットは大きく、隔月の運営推進会議にも毎回足を運んでもらえています。日頃から見てもらっていることが功奏しているのか、今3月にあった実地指導では口頭指導はあったものの、書面指導はありませんでした。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	3日に1度の面会もあれば、年数回という人もいて、本人の様子は事業所が2ヶ月に1度郵送で届けてる便りで掴んでもらっています。また月に1度実施する外出行事では、「外食」の時は家族を誘っています。利用者とは生活の中で思いや意向を汲み取るとともに、できるだけ気持ち良く過ごしてもらうためにもリビングでの席の配置も気づきがあがったら速やかに変えています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○